

**製品名: M6PR/IGF2R (11G10) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13539**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:5000-1:50000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,FC 1:100-1:500
分子量	274kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IGF2R
別名	IGF2R; CI Man-6-P receptor; CI-MPR; M6PR; MPR 300; Insulin-like growth factor 2 receptor; M6P/IGF2R; CD222;
遺伝子 ID	3482.0
SwissProt ID	P11717
免疫原	ヒトカチオン非依存性マンノース-6-リン酸受容体の合成ペプチド

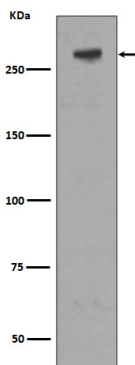
## 背景

ゴルジ体および細胞表面からリソソームへのリン酸化リソソーム酵素の輸送。ホスホマンノシル残基を有するリソソーム酵素は、ゴルジ体中のマンノース-6-リン酸受容体に特異的に結合し、結果として生じる受容体-リガンド複合体は酸性の前リソソーム区画へ輸送され、そこで低 pH によって複合体は解離する。この受容体は IGF2 にも結合する。DPP4 に結合することで、T 細胞共活性化の正の調節因子として作用する。ゴルジ体および細胞表面からリソソームへのリン酸化リソソーム酵素の輸送を媒介する (PubMed:2963003、PubMed:18817523)。ホスホマンノシル残基を有するリソソーム酵素は、ゴルジ体中のマンノース-6-リン酸受容体に特異的に結合し、その結果生じる受容体-リガンド複合体は酸性の前リソソーム区画へと輸送され、そこで低 pH によって複合体は解離する (PubMed:2963003, PubMed:18817523)。その後、受容体はレトロマーへの結合を介してゴルジ体へと再輸送され、再び輸送される (PubMed:18817523)。この受容体は IGF2 にも結合する (PubMed:18046459)。DPP4 に結合することで T 細胞共活性化の正の調節因子として作用する (PubMed:10900005)。

## 研究分野

リソソーム;

## 画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の M6PR 発現抽出物のウェスタン ブロット分析。